



東北大学



平成 24 年 7 月 9 日
東北大学大学院医学系研究科

宮城県のエコチル調査協力者 4500 人を突破
- 震災の影響を受けながらも目標の半数に予定より早く到達 -

環境省が昨年 1 月より開始した「エコチル調査^{*1}（子どもの健康と環境に関する全国調査）」の宮城県の協力登録者数が、6 月 30 日に、4500 人を突破しました。

宮城県のエコチル調査では 3 年間の予定期間で登録者数 9000 人達成を目標としており、調査対象地域は県北西部（大崎市、栗原市、登米市、加美町、色麻町、美里町、涌谷町）と、沿岸地域（石巻市、気仙沼市、南三陸町、女川町、岩沼市、亘理町、山元町）からなります。それらの地域は、昨年 3 月 11 日の東日本大震災と 4 月 7 日の余震により甚大な被害を受け、登録の中断を余儀なくされました。しかし、調査協力者の皆様と関係医療機関・自治体のご支援により再開可能な地域より順次登録を再開・開始し、昨年 8 月 1 日には全地域で通常通りの調査体制に戻ることができました。

そして、昨年 1 月 24 日の登録開始以来、予定期間の半分である 18 ヶ月を待たずに目標登録数の半分である 4500 人が登録され、また出産された調査協力者の方々は 7 月 2 日現在 2672 人となりました。この参加者数・達成率は全国 15 地区の調査対象地域の中でトップとなっています。

調査の意義に賛同し協力された妊婦さんとそのご家族の皆様、関係医療機関・自治体の皆様に感謝し、これからも子どもの健康のために、本調査を続けてまいります。さらにエコチル調査を通して、宮城の復興を活気づけられるように努力して行く所存です。今後ともエコチル調査のご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

^{*1}エコチル調査：子どもの成長・発達に環境（洗剤・食品に含まれる化学物質、空気などの住環境、生活習慣等）がどのように影響を与えているかを明らかにする目的で始められ調査で、お子さんがお母さんのお腹の中にいるときから 13 歳になるまで全国で 10 万組の親子に調査に参加していただくことを目標としています。

(お問い合わせ先)

東北大学大学院医学系研究科エコチル調査宮城ユニットセンター
センター長 教授 八重樫伸生

(広報担当 講師 西島維知子)

電話番号： 022-717-7577

Eメール： nishijii@med.tohoku.ac.jp

(報道担当)

東北大学大学院医学系研究科・医学部広報室

長神 風二 (ながみ ふうじ)

電話番号： 022-717-7908

ファックス： 022-717-8187

Eメール： f-nagami@med.tohoku.ac.jp